

会議要録

会議の名称	令和元年度 第1回和光市文化財保護委員会
日 時	令和元年6月3日（月） 13：15～14：00
場 所	和光市役所 5階 502会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】10名の委員のうち8名が出席 田中 明、矢崎康彦、小田部玲子、森 朋久、鈴木敏弘、 並木實、大平秀和、関口泰典 ※欠席：内田はま子、小柳一彦 【事務局】 [教育委員会] 戸部教育長、結城教育部長 [生涯学習課] 茂呂課長、鈴木課長補佐兼文化財保護担当統括主査、 文化財保護担当 条野主任、安井主事、大内（臨時職員）
傍 聴 者	0名

1 開会

2 教育長あいさつ

それでは、ご挨拶申し上げます。本日は、ご多忙のところ和光市文化財保護委員会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。本日は令和元年度第1回目の会議となりますが、現任期、最後の委員会でもございます。

後ほど本人から皆様へご挨拶させていただきますが、4月1日付けの人事異動により、東内教育部長から結城教育部長へと、また生涯学習課につきましても横山課長から茂呂課長へと教育委員会において職員体制に変更がございました。

平成から令和へと元号が変わり、教育委員会も新体制となりましたが、和光市の文化財保護行政を引き続き推進してまいります。

さて、本日の議題にもなっておりますが、事務局では午王山遺跡の国史跡の指定を目指し、職務を行っているところでございます。

午王山遺跡が国史跡の指定を受けることとなれば、「弥生時代の集落跡」としては埼玉県内初の指定となり、市内外から大きな注目を集めることと思います。

和光市をはじめする周辺地域の歴史文化の拠点となり得る午王山遺跡の国史跡指定を目指し、担当職員一同業務を進めてまいりますので、今後とも、委員の皆様のお力添えをいただければ幸いです。

それでは、これからの各議題の審議をよろしくお願いいたします。

3 異動職員紹介

異動職員の紹介。

○事務局より説明・報告

1. 市民参加条例第 12 条第 4 項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
2. 配布資料について説明。
3. 内田委員、小柳委員より所用による欠席の事前連絡をいただいている旨を報告。
4. 以降の議事進行は委員長が行う。

4 議題（協議・報告）

（１）午王山遺跡の進捗状況について

○委員長

本日の会議は不開示情報の審議がないため、公開とする。

議題（１）午王山遺跡の進捗状況について、事務局より説明願いたい。

○事務局

午王山遺跡の進捗状況、予定スケジュール等を説明。

意見具申書の提出までのスケジュール

市民対象説明会を開催予定。

午王山遺跡総括報告書刊行。

- ・意見具申書の提出から告示までのスケジュール

文化庁への意見具申書の提出

文部科学大臣から国文化審議会へ諮問

国文化審議会での審議後、国文化審議会から答申

（順調に進んだ場合）国史跡指定 官報告示

- ・国史跡指定後について（予定）

「（仮称）午王山遺跡保存活用計画」の策定に向け着手。

シンポジウム・展示会等の開催。

○委員長

事務局の説明に関し、ご質問等のある方はいらっしゃるか。

○森委員

同意率は、全面積の何%までの確保が必要となるのか。

○事務局

必要事項として決まった数値があるわけではないが、全面積の半分以上は必要だと考えている。

○並木委員

同意いただけない場合はどうなるのか。

○事務局

今回の意見具申で国の史跡には指定されず、「今後保護を要する範囲」として将来的な国の史跡予定範囲となる。

(2)平成 30 年度文化財保護事業報告及び(3)令和元年度文化財保護事業計画について

○委員長

議題(2)平成 30 年度文化財保護事業報告及び(3)令和元年度文化財保護事業計画について、事務局から説明願いたい。

○事務局

平成 30 年度文化財保護事業報告及び令和元年度文化財保護事業計画について資料に基づいて説明。

○委員長

事務局の報告について、質問やご意見、確認事項等はあるか。

○小田部委員

デジタルミュージアムに大イチョウについての論考を寄せた。ぜひ読んでいただきたい。

(4) その他

○委員長

その他、報告や協議事項があれば、お願いしたい。

○事務局

前回の会議で議題に上ったが、その後調査を進め、「筒」ではなく「花」として取り扱っていくことを説明。

根拠

- ① 「大書源」という書体辞典に「花」の字例で筆塚の文字と同じものが見つかったこと。
- ② 市の解釈としても、大和町時代に刊行した「石仏」の資料の中で「筒」と記載していたが、第 1 次市史編さん時に作成した「図説 和光の歴史」の中で「花」として扱っていたこと。

5 その他

○委員長

その他、何かあればお受けしたい。

○鈴木委員

現在、午王山の国史跡指定に向け事務局では努力されているところであると思うが、今

後の市指定候補で検討いただきたいものとして「白子の古銭」と「ダイズ種子圧跡土器」の２点を、改めて申し上げておきたい。どちらも市指定文化財としてふさわしいと考えられる。

○事務局

順次進めていきたい。

○鈴木委員

埋蔵文化財包蔵地として位置付けられていない場所の、大きな開発があるような場合にも、遺構がないかの確認を進めるように希望する。

○事務局

順次確認を進めていきたい。

○副委員長（閉会のあいさつ）

並木委員がご提案、情報をご提供された地福寺の筆塚が、このように解決できてとても嬉しく思う。

午王山遺跡については、土地所有者の方や市民の皆さんにとって国史跡が誇りになるように働きかけていっていただきたい。

6 閉会